



かわにし 広報

発行 川西町 町長 根津正三 編集 企画室 広報係 北村準一 定価 1部5円 印刷 白南風社

人口の動き (8月1日現在)

男	5429 (+6)
女	5544 (+12)
計	10973 (+18)
世帯数	2462 (+6)

()内は前月との比較

二年目の減反

町政コーナー
町政コーナー

七月中旬に行なわれた現地確認の結果、ことしの米の生産調整の実績がほぼまとまった。それによると面積において県割当の一〇八

林二四ヘクタール、養鱈池二二ヘクタールなどとなっている。

大幅増の減反目標

米の生産調整も昨年は全くはじめるの試みで、はつきりした将来の見通しもなく、戸惑いや混乱のうちに経過した感があった。それに比べてことしは、実施期間も昭和五十年までの五年間と定められたこと、休耕と転作にはつきり

た区別を設け、転作特に植林等の永久転作に大幅な優遇策を講じたこと等、制度としての減反政策が体系的に整備された。そして最も大きい特長は、減産目標数量が大幅に増加したこと、これを確保するための、いわゆる歯どめ措置として政府の買入れ数量の制限を定めたことである。国の減産目標は昨年の百万トンからことしは二百三十万トンと大幅にアップされたが、これに伴って町に割り当てられた目標数量も、面積で二・四

倍にあたる一九九・五ヘクタール数量で二・五倍の九二二トンという増加である。しかも、政府売渡限度数量は三九三七トンと定められており、これは四二年から四四

年までの三年間における売渡実績の平均から、ほぼ上野地区全体の売渡数量に匹敵する九二二トン(一五、三六六袋)を控除した数量である。

減反の後に 来るもの

減反という有史以来の事態に直面して、これに対処する農家の立場や考え方はさまざまである。休耕・転作ともに条件の悪い山間地の棚田が多い。これら荒涼とした休耕地の確認を案内してもらいながら、今後減反政策が打ち切られた場合、これらの荒廃田が再び作付けされる可能性の有無についてたまたしたところ、ほとんどの場合否定的な答えがかえってきた。また、ある減反しない農家の意見はこうであった。「オラは、若いときから、田んぼをふやし、りっぱな稲を作ることが最大の意願であった。減反に協力したくないというのではない。りっぱな田んぼを荒らすことが悲しいのだ。政府が買ってくれないというのであれば、そして食糧法があるからやまもいけないというのであれば、豚に食わしてもよい。美田を無残に荒らすことだけはごめん。」

ことしの春、生産調整対策協議会の席上、各農家に対する負担の公平ということが論議されていたとき、一委員から「それも重要だが、町全体から見てもりっぱな田んぼはなるべく荒らさないようにしたい。」という意見が述べられた。減反の現実の中から、将来の農業のあり方を誤りなく見通すことのむずかしさを痛感する。



夏休みの朝のラジオ体操

夏休み
こともちのちの一日は朝六時の起床に始まる体操には、また三十分の間があっという間に身じたくもそこそこに近所の広場へとんで行くラジオからリズムが流れる

みんなで跳躍をしている
イチ、ニイ、サン
おや

特別参加の子ちゃんはまだ、眠いようだな
テルちゃんはどうかかな

行事

八月

- 十日 老人クラブ会長会議
- 十二日 町議会臨時会、午前九時開会予定で、中仙田簡易水道建設工事請負契約が中心議題
- 二十日 農業委員会
- 三十一日 東善寺十王堂少年大ずもう大会、夜七時から

成人式

十五日に川西中学校体育館で行ないます。該当者は、昭和二十五年四月二日から翌二十六年四月一日までに生まれた皆さん。集合は午前九時半までに。それと、忘れずに上ばきを持参するよう。また、ご両親の参列は自由です。記念講演は五井成光新大教授。

少年野球

十八日に千手小学校と川西中学校両校グラウンドを会場として開きます。参加できるのは小学校五、六年生。申し込みは十五日までに公民館へ。午前九時にプレーボールの予定。

警察官募集

新編県男子警察官(採用約八十人、昭和十九年四月二日)同二十九日四月一日の間に生まれたもの。を募集中です。また、新潟県交通巡視員(採用約十人、以下同じ。)も同時に募集しています。申し込みは九月三十日まで、詳しくは駐在所へどうぞ

町議会報告(第四回臨時会) 上野保育園建設決まる

敷地は地元が寄付

町立上野保育園の建設工事請負契約を締結する第四回町議会臨時会は、酷暑にはいつた先月二十八日に招集され、午前九時に開会、同十時六分に閉会しました。

なお、この日は、本会議のあと中食をはさんで午後三時すぎまで全員協議会を開きました。

霧谷冬分も閉鎖へ

臨時会の議案は、①川西町立学校設置条例の一部改正、②保育園敷地寄付の受け入れ、③川西町立上野保育園建設工事請負契約、以上三件で、いずれも原案とおり可決されました。このうち、①の学校設置条例の一部改正は、仙田小学校霧谷冬分の閉鎖を内容としています。

霧谷冬季分校については、ことし三月までの開設期間中、四年生と六年生各一、計二人が在籍しました。しかし、二人のうち六年生は卒業、現在五学年の児童はことし十一月に千手地区へ転出が決まり、さらに、部落に幼児もいないことから、その必要がなくなっている今回の措置となったものです。

小川建築工業所の手で施行

保育園敷地寄付受け入れの件は明春四月に開所する予定の町立上野保育園の建設敷地を、地元中部

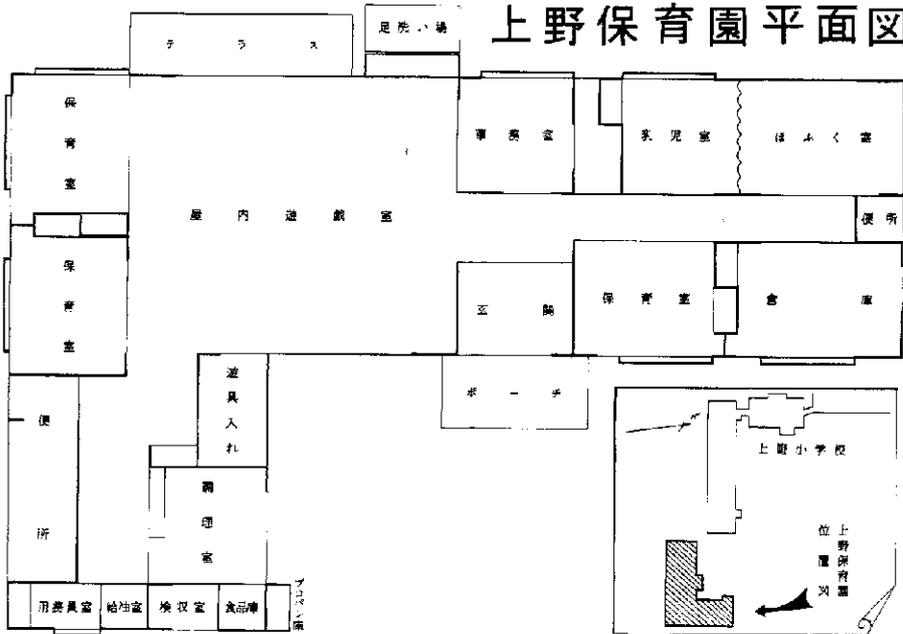
地区振興会で寄付するという申し入れに基づいて上程したものです。申し入れのあった敷地面積の合

計は二、三二九坪で、土地所有者は上村慎松さん、上村繁雄さん、清水料さん、清水儀七さんの四人となつています。

また、請負契約は、一千六百三十三坪で小川建築工業所(下平新田)に決まりました。

同保育園の建設についてはこの議会の議決後、さる二日に地鎮祭

上野保育園平面図



を行ない、さっそく工事にとりかかっています。

「明るく家庭づくり」と

「家庭の日」の

作品募集

県、県教委および青少年育成県民会議の三者主催で、次の要領によつて募集します。

- 1. 応募資格 県内に住む小、中学生、高校生および一般
- 2. テーマ (1)わが家の家庭の

②明るく家庭をつくるため
に
3. 原稿枚数等 二つのテーマのうち一つを選び、四百字詰め原稿用紙五枚以内に縦書きにしなくてはならない。

③ 様式等 用紙は、B列3番(三六・四〇)X五一・五〇の画用紙を使用してください。裏面に、住所・学校・学年、氏名を記入してください。

送付先

新潟市学校町一(〒九五一一)

新潟県民生部青少年対策室

募集期間 八月二十日(九月十五日)

表彰等

小学校低学年、同高学年、中学校、高校および一般の五段階に分けて表彰します。詳しくは、学校町教委へ問い合わせてください。

緑豊かな町づくり

保安林巡視員に茂野さん

森林は、木材や林産物の生産をはじめ、水源の養成、治山治水などの国土保全上、たいせつな役目を果たしています。

また、野生鳥獣保護や森林の保健休養的、あるいは風致的な価値も軽視できません。

町では、この国土保全と緑豊かな郷土づくりを目標に、保安林の巡視を、年々、強化しています。

特に、仙田地区では、町全体の約六二％にも当たる三二九・七haの保安林を有し、そのほとんどが、なたれ防止林となつて

巡視をお願いしました。もし、近くの保安林に異状の発生した際は、産業課または茂野さんに一報をお願いします。

町に保安林はどのくらいあるのか、ご参考までに、左の図のようにまとめてみました。

なお、町には、○水源かん養保安林 ○土砂流出防備保安林 ○土砂崩壊防備保安林 ○なだれ防止保安林の四種があります。

保安林の数と面積

部署名	数	面積(ha)
仙田	13	21902
田島	6	1573
倉瀬	8	518
戸谷	5	1116
倉谷	1	031
倉谷	7	3574
沢倉	5	2722
沢倉	1	421
沢倉	1	070
沢倉	1	119
沢倉	4	762
沢倉	1	160
田口	5	1025
田口	2	8631
野吉	1	092
野吉	4	8484
友友	1	883
友友	1	440
友友	1	009
友友	1	832
合計	70	53364

連日、ごくろうさまでした 仙田地区での慶大医事振の皆さん



資料をかこんで熱心な打ち合わせ

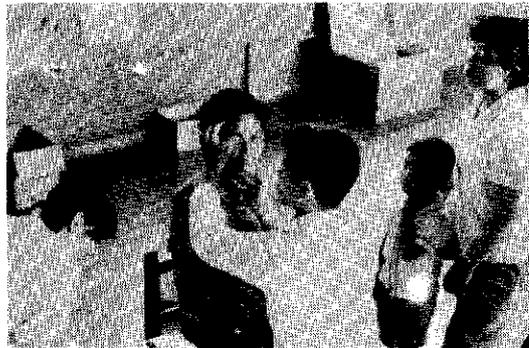


身長、体重はもとより視力検査もやって思わずむかしを思い出したような表情。

ふり返ってみると、慶応大学医事振興会から、へき地診療班の皆さんが最初に来町したのは四十四年二月のこと。医療問題で悩みの多い仙田地区にとっては、まったくの福音だったわけですが、以来、冬期班や夏期班と、毎年、仙田地区を中心に訪問診療、児童の検診等々、おかわらわの活動を続けてくれました。



体育館をフルに活用して診察する



眼科の検診で神妙な顔をする。そばの母と子も順番を待ってまばたきもしない。

ことしも、夏期班の皆さんが先月二十三日に到着し、きょう十日まで、夏の一番暑いなかをものともせず奮闘してくれました。写真は、この医事振の巡回診療の様子を紹介したもので、右下のものを除いて、いずれも仙田小高倉分校で撮影したものです。



おかあさんがあやしたぐらいでこの子は開けられませんが、いっそのこと「おかあさんが見てもらえばいいんだ」



仙田地区ばかりでなく、時には平場地区での乳幼児検診にも腕をふるう。(役場で)

福祉年金証書の交付

来月九日に

福祉年金証書を次の日時にお渡しします。該当者は、印鑑を持参して、忘れずにお出かけください。

日時 九月六日午前九時から午後四時まで
場所 川西町役場
橋出張所
仙田出張所
上野郵便局

この日以降は、役場の当係までおいでください。(社会課年金係)

田中さん から
星名さん から
香典返し

七月九日になくなられた田中露吉さんのご遺族田中露吉さん(下平)から一万円、また、同十八日になくなられた星名イシさんのご遺族星名仁作さん(上野)から二万円、いずれも、香典返しとして社会福祉に役立ててほしいと、町社会福祉協議会にあてて寄付がありました。

分室に電話

【三〇八番】

です

これまで、分室をご利用いただく際、電話のないために皆さんに何かと不自由をおかけしてききましたが、七月に公社電話を入れましたのでお知らせします。番号は、千手局の三〇八番です。

